

< あなたの治療について >

呼内-OSI/CBDCA/ALI-nonSq-q3w

今回の治療は、OSI/CBDCA/ALI 療法という治療法で、タグリッソ（OSI）という内服薬とカルボプラチン（CBDCA）とペメトレキセド（ALI）という2種類の注射薬を併用して行います。タグリッソ、カルボプラチン、ペメトレキセドは、共に腫瘍の増殖を抑えるお薬です。3つの薬を組み合わせることで、より効果を高めることができます。

◎ 治療全体の流れ

今回の化学療法は3週間が1コースとなっています。各コースの1日目に点滴を行い、タグリッソを1～21日目に服用します。この治療を3週間（21日間）ごとに4回繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。また、副作用の予防として治療7日前よりパンビタン末（総合ビタミン）の内服及びメチコパール（ビタミンB12）の筋注を行います。

◎ 1コース分の治療スケジュール

	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2日目	3日目	4～21日目
	タグリッソ (抗がん剤) 80mg/day	内服				
	アプレピタント (吐き気止め)	内服	125	80	80	お休み

※アプレピタントは症状に応じて上記日数を超えることがあります。

順序	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2～21日目
①	デキサート グラニセトロン (吐き気止め)	点滴 約30分		お休み
②	ペメトレキセド (抗がん剤) 500mg/m ²	点滴 約10分		
	30分以上、間隔をあけます。			
③	カルボプラチン (抗がん剤) AUC5	点滴 約1時間		

★ 点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなってはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、腕を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

◎起りやすい副作用について（頻度20%以上）

タグリッソ・ペメトレキセド・カルボプラチンによる

- 白血球減少、好中球減少、リンパ球減少、ヘモグロビン減少、赤血球減少、ヘマトクリット値減少、貧血、血小板減少 ●AST 上昇、ALT 上昇 ●LDH 上昇 ●AI-P 上昇 ●CRP 上昇
- 悪心・嘔気・嘔吐、食欲不振 ●口内炎 ●下痢 ●疲労 ●倦怠感 ●発熱
- ざ瘡、湿疹、発疹、皮膚乾燥、爪の障害（爪囲炎を含む）等

◎特徴的な副作用について

タグリッソにおける

●間質性肺疾患

「発熱、咳、息苦しい、息切れ」などの症状

●QT 間隔延長

「めまい、気を失う、動悸（どうき）」などの症状

●肝機能障害

「疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振」などの症状

●ざ瘡、湿疹、発疹、皮膚乾燥、爪の障害（爪囲炎を含む）等

*** ざ瘡、発疹、皮膚乾燥、そう痒症、爪囲炎などの皮膚障害については、別添の資料を参照して下さい。**

ペメトレキセドにおける

●発疹

●間質性肺炎

「空咳が出る、階段を登ったり少しはやく歩いたりすると息が苦しくなる、発熱する」などの症状

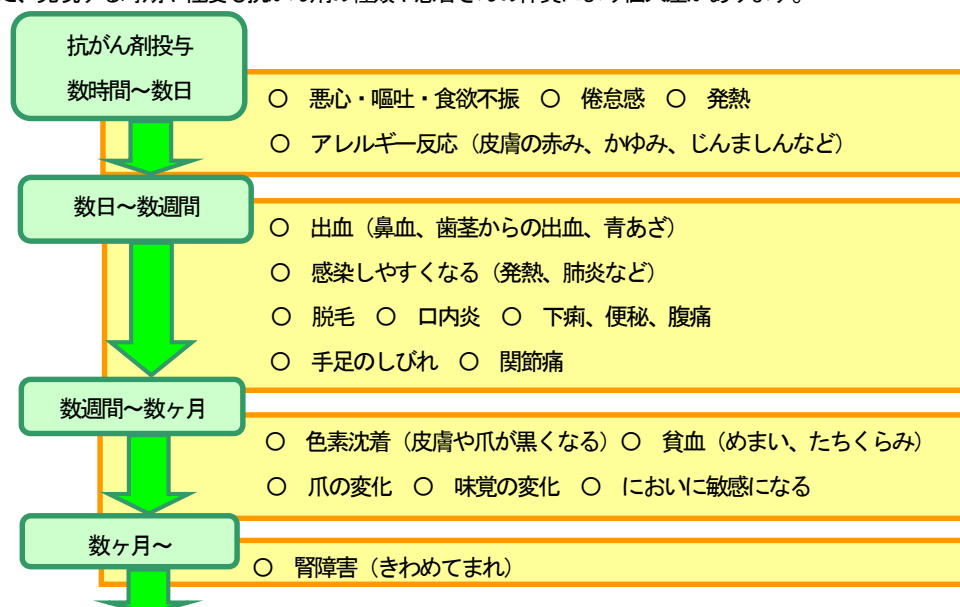
*** 上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。**

◎副作用の発現時期の目安

* この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗癌剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



◎副作用の対策について

★吐き気・嘔吐、下痢と便秘、口内炎、感染症、出血、貧血、脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

◎薬品毎の副作用について（添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋）

まれな副作用ですが、このような症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。

【タグリッソ】

〔間質性肺疾患〕息切れ、呼吸がしにくい、咳、発熱

〔QT間隔延長〕動悸、めまい、ふらつき、気を失う

〔血小板減少、好中球減少、白血球減少、貧血〕鼻血、あおアザができる、発熱、めまい

〔肝機能障害〕疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振

〔中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群、多形紅斑〕発熱、粘膜・眼・唇や口内のただれ、多発するみずぶくれ、皮ふの広い範囲が赤くなる

〔うつ血性心不全、左室駆出率低下〕呼吸困難、むくみ、体重の増加、疲れやすい

【ペメトレキセド】

〔骨髄抑制〕貧血、発熱、出血傾向

〔感染症〕寒気、震えを伴う急激な高熱、咳

〔間質性肺炎〕発熱、から咳、息切れ

〔ショック、アナフィラキシー〕顔面蒼白、呼吸困難、目や口唇周囲の腫れ

〔重度の下痢〕便が泥状か、完全に水のようにになっている、差し込むような激しい腹痛、便に血液が混じっている

〔脱水〕過呼吸、意識障害、手指の震え

〔腎不全〕尿量減少、むくみ、全身倦怠感

〔中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群〕発熱、目の充血（じゅうけつ）、口腔粘膜などの痛みを伴った粘膜疹

【カルボプラチン】

〔汎白血球減少などの骨髄抑制〕発熱、悪寒、咳、鼻水が出る、めまい、出血しやすい、血が止まりにくい、あざができる、体がだるい、疲れやすい、息切れ、のどの痛み

〔ショック・アナフィラキシー〕唇や爪などが青紫色になる、胸や息が苦しくなる、急に気分が悪くなる、めまいがする

〔間質性肺炎〕発熱、咳、胸や息が苦しくなる

〔急性腎障害〕尿の出が悪くなる、血尿が出る

〔肝不全、肝機能障害、黄疸〕黄疸が出る

〔消化管壊死、消化管穿孔、消化管出血、消化管潰瘍〕激しい腹痛、下血

〔出血性腸炎、偽膜性大腸炎〕激しい腹痛、下痢

〔麻痺性イレウス〕食欲不振、悪心・嘔吐、著しい便秘、腹痛、腹部の膨満、腸内容物のうっ滞

〔脳梗塞、肺梗塞〕意識の低下、手足のしびれ、息苦しい

〔血栓・塞栓症〕手足のしびれ、息苦しい

〔心筋梗塞、うつ血性心不全〕動悸、息切れ、胸が痛い、苦しい

〔溶血性尿毒症症候群〕出血しやすい、血が止まりにくい、尿の出が悪くなる、皮膚や白目が黄色くなる、めまいがする、皮膚に紫色の斑点ができる

〔急性呼吸窮迫症候群〕急に呼吸が困難になる

〔播種性血管内凝固症候群〕出血しやすい、血が止まりにくい

〔急性膵炎〕上腹部の激痛

〔難聴〕耳が聞こえにくい

〔白質脳症（可逆性後白質脳症症候群を含む）〕歩行時のふらつき、口のもつれ、物忘れ、動作緩慢

〔腫瘍崩壊症候群〕尿量が減る

◎ 上記のほかにも副作用が現れることがあります。

他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。